

税軽減、赤字回避、キャッシュフロー改善に効く!!

「会社を守る仕組み」のつくり方

生命保険で含み資産をつくり、財務体質を強化する方法

不況による業績悪化、大口取引先の倒産、メインバンクの融資引き揚げ…。このようなりスクから会社を守ってくれるのは、最終的にはやはり、キャッシュである。キャッシュさえあれば、赤字でも会社が倒産することはない。そこで今回はキャッシュを蓄え、会社を守る方法として、「生命保険を使った含み資産づくり」を紹介したい。会社を守るプロであるリサーチ代表の宮田氏に聞いた。



リサーチ 代表取締役
宮田 和裕
みやた かずひろ
1968年、大阪府生まれ。法人保険の営業マンとして活躍。2009年に株式会社リサーチを設立し、代表取締役に就任。

生命保険を使って含み資産をつくる メリットとリスク

メリット

- 1 不測の事態に対応可能
いつでも現金化できるため、不測の事態にも対応可能。含み資産の一部だけを取り崩すことももちろん可能
- 2 赤字を回避できる
赤字の際に含み資産を取り崩せば、帳簿上、営業外収益となり、赤字を回避できる
- 3 税軽減効果がある
黒字の時に損金算入でき、赤字の時に保険を解約し、雑収入を発生させる。そうすれば解約返戻金に対して課税が発生せず、税軽減効果が生まれる

リスク

- 1 キャッシュが拘束される
生命保険に加入すれば、保険会社にキャッシュをプールすることになる。その分、会社のキャッシュが減る
- 2 保険会社が倒産すると解約返戻金に影響が出る
万一、保険会社が倒産した場合、予定していた解約返戻金が少なくなる場合がある
- 3 法改正に対応する必要がある
将来の法改正により、生命保険に関する課税関係が変わる可能性がある。法人税率が引き下げになった場合には、生命保険の税軽減効果が小さくなる可能性もある

「含み資産」が会社を守る

この不況下、取引先の倒産や金融機関の融資引き揚げなど、企業は大きなリスクを抱えています。どうすればリスクから会社を守ることができそうですか。

宮田：まず当然のことですが、会社にとって最大の危機は「倒産」です。ですから、何よりも倒産リスクを軽減しなければなりません。そして会社が倒産する原因は、たつたひとつ。それは資金繰りの悪化です。ですから、それを防ぐために、常日頃から会社にキャッシュを蓄えておくことが大事です。

一般的に、会社にキャッシュを蓄える方法は「金融機関からの借入」と「内部留保による蓄積」があります。しかし現在、金融機関からの借入は非常に難しい。不況の影響で、金融機関の融資審査が厳しくなっているからです。とは言え、内部留保の蓄積にもデメリットがあります。それは、なかなかキャッシュが残らない点。日本の法人税率は世界的に見ても異常に高い。利益の約40%を法人税として持っていかれます。

では、どうやって企業はいざという時のために備えたいのですか。

宮田：私がお勧めしているのが「含み資産をつくる」ことです。黒字の時に損金で落として、赤字の時に緊急時にはいつでも現金化できる仕組みです。その含み資産が赤字額の範囲内であれば、ほとんど税金はかかりません。さらに取り崩した含み資産は経理上は雑収入という営業外収益になるため、赤字も回避できます。つまり、支払う税金を軽減することができ、さらには、支払う税金のタイミングを経営者が自分で決めることができ、決算対策にもなるわけです。

含み資産のつくり方を教えてもらえますか。

宮田：一般的には、株や不動産の購入な

生命保険を使うと、こんなにキャッシュがオトクになる

前期に1億円の黒字、当期に7000万円の赤字のケース

グラフで比較!



通常の場合に比べ、キャッシュが約2200万円オトク

「生命保険を使った含み資産づくり」を勧めている会社は数多くあります。そんな中、御社が多くの企業から支持されているポイントは何ですか？

宮田：大きく分けて3つあります。1つ目は「生命保険の提案力」。当社は法人保険に特化し、20社以上の生命保険を取り扱っています。そして、それらの生命保険を活用して、中小企業の様々な悩みを解決してきました。含み資産の形成に限らず、その他にも保険を使った福利厚生制度の設計、事業承継対策、役員の退職金づくりなどお手伝いしています。

2つ目は「継続的なアフターフォロー」。生命保険は加入したら終わりではありません。保険加入後、法改正が起きたり、もつと条件の良い生命保険が販売されるケースは多くあります。そこで、当社ではクライアントを定期的な訪問し、法改正情報の提供や新たなプランの設計提案などを随時行っています。

そして3つ目は「人事労務分野のサポート」。当社がお手伝いしているのは、「生命保険を使った含み資産の形成」だけではなく、

「生命保険は福利厚生、事業承継、役員の退職金にも使える」

「最後に、経営者へアドバイスをお願いします。」

宮田：繰り返しになりますが「会社を守る仕組みづくり」には、生命保険が非常に有効です。黒字企業は使わなければもったいないと思います。また、すでに生命保険に加入している企業は、自社の保険を見直してみてください。私の経験上、約9割の経営者は適切な保険選びができていません。

経営者が賢い保険選びをすれば、倒産リスクを減らし、従業員の生活も安定します。ですから、生命保険はぜひ慎重に選んでください。これからは当社が「会社を守る仕組みづくり」を全力でサポートしてまいります。

取材文/丸山広大 撮影/荻沼秀和

ファイナンシャルプランナーに聞く

「会社を守る仕組みづくり」をサポートしています。

詳しく知りたい方は、お気軽に問い合わせください。

リサーチ
ファイナンシャルプランナー
鍵和田 光代 かぎわだ みつよ

TEL/03-5532-7623
Mail/info@resage.co.jp
URL/http://www.resage.co.jp

株式会社リサーチ
設立/2009年2月
事業内容/企業防衛コンサルティング
URL/http://www.resage.co.jp TEL/03-5532-7623